

# 関東地区 4支部連合会報

— 東京・埼玉・千葉・神奈川 —

第92号 2026年6月1日発行

発行  
愛知大学同窓会関東地区4支部連絡協議会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1  
霞が関コモンゲート西館37階  
愛知大学東京霞が関オフィス内  
TEL(03)3501-6405 FAX(03)3501-6406

## 令和8年度「支部総会・懇親会」開催のご案内とご出席のお願い

関東地区4支部では、本年度支部総会を左記の通り開催いたします。会員相互の親睦交流、情報交換を深めるとともに、同窓会本部や母校の現況など知る機会ともな

ります。  
なお、出欠のご返事を同封ハガキで、6月20日までに  
お知らせ下さいますようお願いいたします。

### 神奈川支部

会場の大倉山記念館は坂の上にあります。タクシーによる迎えをいたします。大倉山駅前係りの者に気軽にお声掛けください。公開講演会は、当支部と大倉山精神文化研究所との共催で、講師として母校の教授を招き、大ホールにて地域の皆様と一緒に聴講します。

講演会の後、同会場にて支部総会を開催します。  
総会終了後に、送迎バスで会場へ移動して懇親会を催します。万障繰り合わせての、ご出席をよろしくお願い申し上げます。  
日時 令和8年7月4日(土)  
13時受付開始

### 埼玉支部

支部総会・懇親会を左記の通り開催いたします。会場は昨年と同じ「東天紅JACK大宮店」になります。  
当支部では、武蔵探見、読書会、テーマ発表、会報発行等の活動を展開しております。  
年に一度の総会に一人でも多くの会員が元気に参加されることを願っています。

支部総会・懇親会及び落語会を左記の通り開催いたします。同窓生との情報交換や久しぶりの出合いの場として年代を問わず多数の同窓生の参加をお願いいたします。特に若手の同窓生大歓迎です。なお、会場の日比谷図書館は便利もよく、図書館のほか江戸時代の江戸城紹介の展示等もあり都心の憩いの場として利用されています。  
是非、当日のお運びをお待ちしております。  
日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

### 千葉支部(ちば古哲会)

千葉支部の総会と懇親会開催のご案内です。  
同窓生の皆さんは、大学から見れば我が国の社会との大事な窓口の役割をしています。大学の幹部の方も出席しますから、平成・令和の卒業生の皆さんにも是非出席し懇談していただきたいと願っております。懇親会では楽しいハワイアンの生演奏を用意しております。  
懇親会だけの参加でもかまいませんよ、気軽にどうぞ！

### 東京支部

支部総会・懇親会及び落語会を左記の通り開催いたします。同窓生との情報交換や久しぶりの出合いの場として年代を問わず多数の同窓生の参加をお願いいたします。特に若手の同窓生大歓迎です。なお、会場の日比谷図書館は便利もよく、図書館のほか江戸時代の江戸城紹介の展示等もあり都心の憩いの場として利用されています。  
是非、当日のお運びをお待ちしております。  
日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

### 記

日時 令和8年7月11日(土)  
11時～14時  
会場 「東天紅JACK大宮店」  
さいたま市大宮区錦町  
六八一二  
大宮情報センター十八階  
JR大宮駅徒歩五分  
東武アーバンパークライ  
ン大宮駅徒歩四分  
TEL 048-647-0080  
会費 7千円  
連絡先  
TEL 090-9135-0146  
(吉田一弘)  
TEL 090-4361-7785  
(中川善弘)  
(支部長 吉田一弘)

日時 令和8年7月19日(日)  
11時より  
支部総会  
・懇親会 12時より  
会場 麗澤大学構内「キャンパスプラザ会員会館」  
JR常磐線南柏駅東口の東武バス停①番乗り場から乗車し麗澤大学前で降車校内に入り徒歩5分  
TEL 04-7173-3588  
会費 6千円(平成・令和卒業生3千円、女性2千円)  
連絡先  
TEL 090-2530-9918  
(齊本正嘉)  
TEL 090-2462-3675  
(竹田貴文)  
(支部長 齊本正嘉)

日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

【公開講演会】(13時半～15時)  
講師 愛知大学文学部 廣瀬 憲雄 教授  
演題 六世紀の朝鮮半島情勢と倭国・東部ユーラシア  
【支部総会】(15時～16時)  
【懇親会】(16時半～18時半)  
会場「ザニューオークラ」  
TEL 045-544-1111  
会費7千円(初参加の方は無料。女性と卒業10年以内の方は半額)  
【連絡先】  
TEL 0467-58-3328  
(伊藤登美夫)  
TEL 0462-35-3128  
(荒井隆史)  
(支部長 伊藤登美夫)

日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

日時 令和8年7月25日(土)  
受付開始 10時15分より  
会場 日比谷図書館  
(2頁日比谷公園・案内図参照)

【支部総会】  
開始時間11時30分より  
場所 同右 コンベンションホール(大ホール)  
【懇親会】開始時間12時30分より  
場所 泰南飯店(イイノビル地下1階)  
千代田区内幸町2-1-1  
電話03-6206-1317  
会費 7千円  
(女性4千円、令和卒無料)  
連絡先  
TEL 090-4452-0053  
事務局岩城龍夫  
(東京支部長 杉野彰一)

お願い：出欠のご返事を六月二〇日(土)までに同封のハガキでお知らせ下さい

# 東京支部

## 〔日比谷図書館案内図〕



## 江戸名所めぐり・

### 富岡八幡宮例大祭見学会

2026年は、江戸三大祭りのひとつ「富岡八幡宮例大祭（深川八幡祭り）」が開催となります！

三年に一度の本祭り。豊洲など各町の御神輿が連なって永代通りから富岡八幡宮を通る。神輿連合渡御（みこしれんごうとぎよ）があります！ 神輿連合渡御の実施日は8月16日（日）。このお祭りの見学会（淀野氏（45卒）宅2階からの見学）と神輿担ぎをしますので、ご参加下さい。申込み、連絡は事務局まで！（事務局）

### 会場位置図

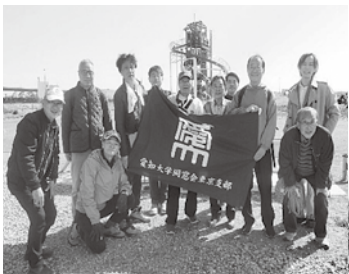


## 〔第18回江戸名所めぐり〕 海の森公園散策と 若手同窓生歓迎バーベキュー会

東京湾の奥部に、昨年3月にオープンした「海の森公園」の散策とバーベキュー会を令和卒の若手同窓生歓迎会を兼ねて、実施しました。参加者計11人（うち令和卒2人）、吉田埼玉支部長、伊藤神奈川支部長、鳥越事務局長が参加してくれました。

今回は、天気に恵まれて、「海の森公園」2キロ程度の散策とバーベキュー広場のバーベキューをしました。

公園敷地には、ボラントイアがどんぐりから育てた木が植えられています。公園内には野鳥や昆虫が多く生息しているほか、スポーツやイベントが行える広場も整備され、高台からは都心や房総半島などの眺望が楽しめます。（事務局）



## 令和7年度東京支部会費・

### 寄付金納入者名簿

（令和8年3月31日現在）

#### ■支部会費

- 6月 矢崎克仁(56)、鈴木哲弘(日21)、小河内雅晴(49)、矢野重紀子(日11)、宮崎晋樹(63)、立川小談志(日11)、鷲野薫(52)、横野忍(47)、飯田一貴(56)、小椋康宏(42)、淀野敏男(45)、田中正博(59)、酒井元紀(日1)、藤井明雄(29)、金沢修(46)、7月 大久保知也(60)、小川千尋(28)、岩城龍夫(52)、9月 長崎昌子(57)、10月 西村勉(日1)、11月 瀧澤俊彦(54)、12月 牛山功(32)、矢崎克仁(56)、伊藤福子(44)、鷲野薫(52)、宮崎晋樹(63)、飯田一貴(56)、奥山みどり(55)、立川小談志(日11)、藤井明雄(29)、淀野敏男(45)、匿名、酒井元紀(日1)、小林文生(56)、大久保知也(60)、石川梢(日15)、野村一貴(日28)、松村太介(日8)
- 8年1月 兼子欣也(35)、小川千尋(28)、菅原暖仁(R5)、2月 瀧澤俊彦(54)、長崎昌子(57)、3月 松谷拓実(R4)

計44名

#### ■寄付金

- 6月 鷲野薫(52)、淀野敏男(45)
- 藤井明雄(29)、金沢修(46)、7月 小川千尋(28)、岩城龍夫(52)、10月 西村勉(日1)、12月 伊藤福子(44)、藤井明雄(29)、淀野敏男(45)、8年1月 小川千尋(28)

計11名 延べ55名 以上

ご協力ありがとうございました。  
支部会費、寄付金は同窓会活動の源泉で、皆様の支援で成り立っています。今後ともご支援ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

（支部長 杉野彰一）

### 会員だより 東京 養蜂事始め

板橋区 岩城 龍夫

平成26年3月、公務員の定年退職と同時に、三浦市に居住していた母親の居室の庭の一角で、西洋ミツバチの一群の飼育を、教本を基に見よう見まねで開始してから、早10年目を迎えています。

そもそも、三重の田舎の義弟がニホンミツバチを飼育していて、年1のお墓参りに時にミツバチの飼育を見学していたのが、事の始まりです。ただ、ニホンミツバチは在来種で、自分で捕獲しないとかなかなか飼育できないことから、3年位かけて、3群まで捕獲して飼育し始めたものの、在来種の蜂は神経質なため、安定して飼育するのが難しく、昨年、猛暑も重なり、ニホンミツバチ群は消滅してしまいました。

並行して、板橋の自宅の屋上で、西洋ミツバチの飼育を始めていたので、養蜂関連の講習会、養蜂団体への加入と情報収集、養蜂技術の習得に努めてきました。最近、ようやく、安定した飼育、採蜜が可能となったことから、西洋ミツバチのハチミツ販売に踏み切りました。採蜜した「板橋産ハチミツ (Tobashi Miel)」を販売するため、保健所に届出をし、板橋区の農家の集まりである「板橋ふれあい農園会」にも加入しました。

主として、「板橋区民まつり (10月)」、「板橋農業まつり (11月)」等で、約100キロの「板橋産ハチミツ」を、板橋の農家の皆さんと一緒に販売する販路ができました。

特に、4月～5月に採蜜する春ハチミツ・「板橋サクラハチミツ」は、黄金色で爽やかな味が魅力的なハチミツです。糖度が80度を超えて、長期保存が可能

です。成分的には、水分20%、果糖30%、ブドウ糖30%、他ビタミンミネラル類。抗菌作用もあり、喉の痛みも就寝前に、小さじ1杯分を含んで飲むと改善効果があります。ハチミツがスーパーフードと云われる所以です。

更に、ハチミツに含まれているグルコン酸は腸内の善玉細菌の栄養となり、腸内を整えてくれる作用があり、ヨーグルトと一緒に執ることがお勧めです。

都市養蜂が東京でも盛んで、最も有名なのは「銀座ミツバチプロジェクト」(銀バチ)です。ミツバチは、半径2～3キロ圏内の花蜜を集めます。銀バチのミツバチは、皇居周辺で採蜜しています。農薬の影響もないのでミツバチも安心して活動できます。私が今、ボランティアで支援している団体は、「豊洲ミツバチプロジェクト」です。豊洲駅近くの8階の屋上で、10年近く都市養蜂を行っています。

ただ、都内でも厄介なことは、夏の後半から11月始めまで、天敵のオオスズメバチがミツバチを狩りにくることです。10匹程度のスズメバチで巣箱のミツバチは全滅してしまいます。ミツバチを天敵から守るのも大事な仕事です。また、西洋ミツバチに特有の「ミツバチヘギイタダニ」が寄生しているため、初夏にそのダニの駆除をしないと群れが消滅してしまいますので、この駆除も必須です。

ミツバチそのものは自立していて、食料として花蜜、花粉を集め、子育て、更に、貯蜜して私たちに「ハチミツ」を提供してくれます。このような、昆虫としての「ミツバチ」と生活していくライフスタイルもあっても良いかな？と最近実感しているこの頃です。

(52年卒)

## 埼玉支部

### 第二十五回 武蔵探見

#### 「鉄道博物館(さいたま市)見学」

実施日 令和八年四月四日(土)

参加者 東京支部2名、千葉支部

5名、神奈川支部5名、

埼玉支部7名

計19名

今年も桜の花が満開の山笑う時期に昨年の草加松原散策とは趣を変え『大宮鉄道博物館見学』を実施しました。通称、『てっぱく』の愛称で知られるこの博物

館は、2007年10月14日(鉄道の日)に開館され、2018年にリニューアルされ蒸気機関車から新幹線まで41両の実物車両を展示しています。

朝10時に埼玉新交通システム「ニューシャトル」の鉄道博物館駅に集合し、元ジェイアール社員のボランティアガイドの下、二組に分かれて見学を始めました。英国から輸入され、明治5年に新橋～横浜間を走行した1号蒸気機関車をスタンプに北海道初の鉄道を走行した米国から輸入された弁慶号機関車、さらに初代1号御料車として明治天皇が乗車された車両は当時の美術工芸の粋を集結して製作された貴重なものでした。鉄道が開通するまで日本人は時間に対してそれほど重きを置いていませんでしたが、鉄道の開通により列車を時間通りに走らせるというが必要になり、時間の概念が変わったと考えてもいいかと思えます。鉄道開業当時に人々に鉄道の時間を知らせる為に、増上寺の梵鐘を使うことを試みましたが、徳川幕府の由緒ある梵鐘を使うことは叶いませんでした。その年の内に明治政府は、旧暦(太陰暦)を廃止して太陽歴に改暦したことからしても、



大宮鉄道博物館



鉄道が当時の社会に与えた影響の大きさを感ずる。

標高差が500メートルの横川〜軽井沢間の碓氷峠を走行可能にしたアプト式機関車の展示の説明を皆興味深く聞きながら、懐かしの0系新幹線から「かものはし」700系、山形新幹線で在来線を走行する400系等々を観ているうちに昼食の時間になってしまいました。

正午に展示場の中央の「転車台」の上を回転する蒸気機関車の汽笛を聞きながら昼食を済ませ、その後各自自由見学として、各自が興味のある展示物、ステンドグラス、鉄道ジオラマ等を楽しみました。

最後に館内入口にあるEF5861(特急つばめ号)の前で写真を撮り解散となりました。時間の許す有志は、近隣のレストランで懇親会をしたとのことでした。

春雨の一日でしたが、鉄道の町大宮で有意義な時間を持てた参加者が再度《てっぱく》に來られれば良いと思います。

(夏目益良・吉田一弘共著)



ナポリの街角



黒猫のいる風景・アルファマ

会員だより \*埼玉\*

〜画業40th. sunday afternoon〜

荒木淳一 洋画家

昨年の古希記念展に引き続きことしは画業40周年記念展を開催しています。

テーマは「sunday afternoon」日曜の午後のあと少しで終わってしまった穏やかな時間を名残惜しむようなやせせないアンニュイ感を描いた作品を多数展示させていただきます。

関東では5月27日から6月1日に高崎高島屋で開催いたしました。

今後は9月30日〜10月6日に松山いよてつ高島屋、11月11日〜16日に新潟伊勢丹、11月25日〜12月1日に鳥取丸由百貨店で開催いたします。

なお、2027年は3月31日〜4月6日に上野松坂屋にて〜まだまだ夏は終わらない〜というようなテーマで展覧会開催の予定です。よろしくご高覧下さい。

読書会で思うこと

毎月一回行われる読書会で歴史、経済に関する本を読む。歴史にせよ経済問題にせよ、著者により見解がまちまちであるというところをつくづく感じる時がある。とりわけ歴史に関しては国によって捉え方が異なる。国家が国益を考慮した時、一つの歴史を自国の都合の良いように捉えていこうとする。

経済に於いても一つの政策は長所と短所があり、直面した状況の中で判断され、施行される。その判断の是非は何年か後でないと答えはでない。自分たちはそういった不確実で答えの出ない中で毎日の生活を営み日々を送っているのだと思う。その現在は、過去の歴史、経済の延長線上にあり、自分の考えを構築するには、過去の歴史、経済を学ぶしか方法はないかと思う。それも色々な視点から書かれた本を読まないで視野は狭くなってしまう。日々、メディアの報道を観ていると、皆が同じような視点で人々の興味を引く扱いをしているように感じる。そういう状況からすると、一つの本を複

数人で読み、夫々の視点から意見、感想を述べることは、有意義ではないかと思う。

人の考えは自分とは違うのだから。

埼玉支部『読書会』は、毎月第三水曜日 13時よりシーノ大宮生涯学習センターにて行われています。

この一年で読んだ本は以下になります。

『日ソ戦争』(麻田雅文著・中公新書)

『アメリカはなぜ日本より豊かなのか?』

(野口悠紀雄著・幻冬舎新書)

『日本経済の死角』

(河野龍太郎・ちくま新書) 現在読書中

(吉田一弘)

【埼玉支部】

2025年度支部会費納入者名

(2026年3月31日現在)

氏名 (卒業年・学部)

中山 弘 (38法) 山口 昇 (40経)

花井 洋資 (42経) 森本 賢二 (42法)

浜田 重遠 (43営) 中川 善弘 (44経)

田辺 倫子 (44女短) 吉田 敏 (45文)

加藤 孝司 (46法) 小幡 達夫 (47法)

夏目 益良 (47経) 林 三郎 (47経)

稲橋 三春 (48文) 真野 仁志 (53経)

荒木 淳一 (54文) 梅村 伸一 (54営)

吉田 一弘 (56文) 野村 隆宏 (56法)

南谷 英児 (H4営)

亀ヶ谷澄子 (H5法)

山内 健治 (H9法)

金津 吉和 (H20現中)

田代佳穂利 (H31院経営(修士))

住所、氏名、電話等の記名無し 1件

24名

# 千葉支部(ちば古哲会)

## 千葉刑務所見学会を開催

今回は、これまでの歴史探訪とは趣きを変えて、めったに訪れることのない刑務所を探访してみました。

令和8年3月12日、心配された天気も上々で温かい午後、千葉刑務所を見学しました。

今回の企画は、齊本支部長の法務省との繋がりにより特別に許可され実現しました。埼玉支部から3名、神奈川支部から3名にご参加いただき、千葉支部の8名を加え、総勢14名の参加でした。

千葉駅に集合し、バスで約10分、住宅地の中に忽然と刑務所が現れ、まずはビックリしました。

本館は、明治40年に竣工されました。建築家山下啓治郎の手による画期的な重厚でネオゴシック風の赤レンガ建築で我



千葉刑務所の前で集合写真

が国建築史上名高いものです。この建築様式は、全国5か所ありましたが、一部は、明治村に移築展示され、実際に刑務所として使用されているのは、千葉の本館だけのことです。(立派な建物ですから、下見に訪れた時は、NHKがドラマの撮影で大勢のエキストラが門をくぐるシーンを撮っていました。) 厳重な警備の下で全員番号札を付け入場し、まずは菊地所長自ら30分ほど、刑務所の概要について説明を受けました。収容者は、現在1,015人で、基本的に初犯で刑期10年以上の成人男子受刑者で、約7割が殺人等の生命・身体犯、半数が無期懲役という重い刑に服している者とのことであり、また、成田空港が近いことから多くの多国籍の外国人被収容者を収容しております。

なお、約100年ぶりに監獄法、刑法が改正され「監獄」が「刑事施設」のなり、改善更生、社会復帰を目指す教育的処遇が導入されたとのこと。

その後、30分ほど施設内を案内していただき、木工、革工などの作業、入浴、運動(運動は全員が1日30分行うとのことでした。)などの状況を案内していただきました。受刑者が全員、真摯に作業に取り組んでいる姿を見て、何故こんな人が罪を犯したのかの思いを新たにしました。なお、当所が作成する革靴など革製品は刑期が長期になっているので技術もとても優秀でかつ廉価なので、注文してから引き渡しまで2年半待ちとのことでした。

施設内を見学した後は、30分ほど質疑応答の時間が設けられました。「医療体制はどのようになっているか」「死亡した場合どのように葬っているか」「刑務官は武器を持たないが、受刑者同士の争いがあったときはどのように対応しているのか」「入浴時のお湯の使用量は制限されているのか」などの質問が相次ぎ、これには菊地所長自ら丁寧に答えていただき時間をオーバーするほどでした。

刑務所を見学した後は、刑務所に隣接するCAPIIC(刑務所作業製品販売所)を特別に開放していただきましたが、全国の刑務所からの製品で、価格も安く珍しさもあり皆さん購入されていました。

その後は、千葉駅前の「築地・日本海」にて、非日常的な所への見学でしたので、「またとない機会での刑務所見学、複雑な心境」などの感想をいただき、また、それぞれの近況など欲談して、見学会は終了しました。(44年卒 小林昌和)

## 関東4支部

### 親善ボウリング大会を開催

2025年11月9日、あいにくの小雨でしたが、第17回関東4支部親善ボウリング大会を、柏市の柏ヤングボウルにて、東京支部、神奈川支部、そして地元千葉支部から14名の参加を得て開催しました。

皆さん、久しぶりのボウリングで、悪戦苦闘される方が多かったですが、ストライクやスペアが出るたびに大きな歓声が沸き起こり、和気あいあいのうちに2ゲームゲームを行い、その後記念撮影を行いました。

その後、近くの魚一商店に移動して表彰式と懇親会を実施しました。優勝は2年連続で千葉支部の湯山義則さん(44年卒)、準優勝は神奈川支部の鳥越剛さん(53年卒)、ブービー賞は参加最高齢の神奈川支部の中島寛司さん(33年卒)でした。そして、ぴったしカンカン賞は、見事申告スコアと2ピン差で鳥越剛さんが受賞しました。



懇親会は、初めに齊本正嘉千葉支部長から大学の近況についての報告があり、中島寛司さんの乾杯により始まりました。大学80周年寄付金の募金の方法をはじめ、政治・経済の話やそれぞれの近況報告等があり、伊藤明良さんの締め挨拶、関東一本締めによりお開きとなりました。(48年卒 竹田貴文)

会員だより \*千葉\*

愛大の先輩に感謝!

昭和51年に豊橋校舎経済学科に入学しました、水野滝男と申します。大学時代は、北門脇の科学館という所の生物愛好会サークルで、蝶・植物を愛でて夏冬休みには、長野県で合宿して青春を謳歌しました。3年次以降は菅沼ゼミにはいり近代経済学を学びました。暇を見つけては観光地化される前の石垣島、西表島に行き蝶を採集する所謂マニアでした。沖縄に台風がきて1週間陸止めになり帰ることが出来なかつたりしました。

学業はそんな生活でしたから、芳しくなく優等生とは言い難い学生でした。しかし卒業論文だけはまじめに勉強して、書き上げました。お陰さまで運よく学会賞を頂きました。

就職したのは、豊川に本社がある全国規模の厨房メーカーの営業職として東京に配属されました。名古屋弁で自然暮らしの私には東京暮らしに慣れず苦労しました。

営業部の3年先輩の方が愛大OBで公私にわたり手助けをして頂きました。プラチナ先物取引で詐欺にあい何十萬円の損を出したときは、1年間資金を融通してくれました。(もちろん全額返済しました)

7年で転職する際にはここでも愛大の1回りの先輩が現在の職場である同系列の販売会社を紹介してくださりました。その後、会社はバブル崩壊・リーマン

ショック・コロナ禍等いろいろありましたが大きく成長しました。私も日本全国大して今年で40年目にはいりました。現在は顧問で後輩のサポート等しております。人生の岐路に、不思議にも良き愛大の先輩に恵まれました。感謝の思い一杯です。

今後は少しでも恩返しできればと思いい筆をとりました。(55年卒 水野滝男)

二〇二五年度千葉支部

「支部年会費・寄付金」納入者名簿

「支部年会費・寄付金」を納入下さった方は左掲のとおりです。ご理解とご協力に心より御礼申し上げます。支部の活動は会員の皆様のご支援により成り立っており、役員一同感謝申し上げます。会員の皆様よろしくお願い致します。

支部年会費(31名)

- 江坂紀元(31)、堀 昌彦(36)、中山 弘(38)
伊藤明良(42)、塩澤貞夫(43)、村尾竹一(44)
金森定夫(44)、湯山義則(44)、小林昌和(44)
中神六郎(44)、石尾 融(44)、長野道雄(45)
石原 豊(46)、虫鹿敏克(46)、窪田雄一(47)
李 相龍(47)、竹田貴文(48)、西山康夫(48)
齊本正嘉(50)、飯塚理夫(51)、永谷恵子(54)
水野滝男(55)、西岡業穂子(58)、浦田聖司(62)

寄付金

- 江坂紀元(31)、堀 昌彦(36)、伊藤明良(42)
湯山義則(44)、村尾竹一(44)、西岡業穂子(58)

(卒年順・敬称略)

神奈川支部

第5回神奈川名所名跡めぐりと精進料理

北鎌倉寺院めぐりと精進料理

10月18日(土)開催の「第5回神奈川名所名跡めぐり」は、北鎌倉の寺院を散策し精進料理を味わいました。神奈川支部のほか東京・千葉・埼玉の各支部からも多くの皆様に参加いただき、総勢17名の参加者となりました。誠にありがとうございました。

今回は、北鎌倉の禅寺の名刹である円覚寺・浄智寺・東慶寺を巡りました。円覚寺は舍利殿や洪鐘、浄智寺は鐘樓門そして東慶寺は縁切寺として有名なお寺ですが、境内は混雑も少なく歴史と伝統、季節と雰囲気を楽しむことができました。散策後は、鎌倉五山本店にて建長寺発祥といわれる「けんちん汁と炊き込みご飯」をセッとした精進料理を味わいました。

再会と健康を喜び合うなど、和気藹々とにぎやかに相互交流を深めることが出来ました。また、蒸し暑い天候でしたが落伍者や怪我人はなく、無事に終えることができました。

毎度の事ですが、万一に備えて今回も皆さんに保険をかけています。自宅出発から帰宅までが保険の対象です。「安心して参加、満足して帰宅」を神奈川支部行事のモットーとしています。が、今回もご参加の皆様には、満足してお帰りいただけたものと思います。



円覚寺前にて

こうした「おもてなしの心」をふんだんに発揮して、長年に亘って神奈川支部行事を牽引してくれた柴垣敏秋会長(神奈川をガイドする会)が後進に道を譲られることになりました。柴垣会長が専任で担ってこられたフォトアルバムの作成が出来なくなるなど内容の縮小を余儀なくされますが、引き続き「神奈川名所名跡めぐり」を魅力ある催しとするよう努力を続けます。次回も、お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。(事務局長 荒井隆史)

《次回予告》

第7回神奈川名所名跡めぐりは、

秋の箱根路を訪ねて：

第7回の神奈川名所名跡めぐりは、箱根の玄関口にあたる小田原市にある「生命の星・地球博物館」と「鈴廣のかまぼこ博物館」を訪れます。10月17日(土)に開催予定です。

詳細は9月にご案内いたしますので、皆様の参加をお待ちしています。

(神奈川をガイドする会)

会員だより \*神奈川\*

愛大時代を振り返る

相模原市 小林 誠二

1974年の初春に福岡会場の入試試験を受け、法経学部経済学科・豊橋校舎に入学しました。当時は、新幹線も西は岡山までで実家がある佐世保駅から愛知大学前駅まで遠い道のりでした。全く東海地方に土地勘がなかった。当時北門近くにあった古い木造平屋の翠風寮で寮生活を送りました。

ここでの団体生活で、逍遙歌・応援歌や校歌に馴染み、卒業して寮歌祭を知り、愛知大学のルーツや中国大陸などに興味を持つことができました。寮生用の食堂もあり大変助かりました。3年生になるときに下宿生活がしたくなり米屋の二階に引っ越しました。その隣に岡山出身の経営学部の森本君が下宿しており、彼の実家から送ってくるお米に大変助けられました。

同寮であった足助出身の三宅先輩に声を掛けられ、スポーツとは無縁であったのに重量挙げに入部して4年間汗を流しました。重量挙げの世界では有名な石川県菊田先輩は私の2つ上でよく試合会場などで活を入れてもらいました。重量挙げの顧問は鹿児島出身の植屋先生で家庭教師の紹介など公私ともによく面倒を見てもらいました。

また、この部活動を契機にジョギングやロードバイクなど体を動かすことを現在も継続しており、2019年3月の寒い日、東京マラソンに出走して後半回収車に追われながらも時間ぎりぎりまで完走しました。

3年生になり大島ゼミに入り、卒業論文は「日本とASEAN諸国」で当時パソコンもなく手書きの論文に時間を費やし大変苦労しましたが、なぜか努力賞をいただきびつくりしました。この時の学習経験が卒業後、仕事等で中国、東南アジア、北米などあちこちに訪問するきっかけとなりました。中国語の文書作成の時に、台湾出身の社員が愛知大学の「中日大辞典」をもっていたのには驚き、大学をとっても身近に感じました。

卒業してジェーピーエス製薬という漢方薬の医薬品製造販売会社に就職しました。今も勤めている会社の窓から冬晴れの日に、冠雪した富士山が見えます。壮大な景色を見ていますが、人生100年時代と言われていますが、学生時代は僅か4年間に過ぎないのに与える影響の大きさを連想してしまいます。

(53年法経卒)

中島寛司氏が

同窓会奨励賞を受賞



神奈川支部の顧問を務めている中島寛司氏(昭和33年卒)が、「愛知大学関連事業への支援」と、滬友会や霞山会・大学広報活動を通じて長年の隆昌発展への「貢献」を評価されて、3月7日「愛知大学同窓会奨励賞・優秀賞」を受賞されました。

神奈川支部としても、中島氏の日頃の熱心な諸活動が認められたことを心より喜び申し上げます。受賞理由などの詳しい内容は、愛知大学同窓会のホームページ「同窓会奨励賞」をご覧ください。

授賞式の後には学業やスポーツなどで優秀な成績を上げて表彰された学生たちも交えて懇親会が催されました。その席でも中島先輩は、進んで学生たちと交流されていました。先輩の90歳とは思えない学習意欲や向上心の高さ、行動力や積極性は目を見張るものがあります。少しでも身に付けたいものです。

(支部長 伊藤登美夫)

《愛知大学同窓会奨励賞》

奨励賞は、同窓生の貢献や活動を賞賛し、同窓会の活性化を推進することを目的としています。具体的には、同窓生が地域社会や大学の名誉を高めるために行った活動や、スポーツや文化活動での優れた成果に基づいて授与されます。

2025年度

支部会費・寄付金納入者名簿

(卒年順35名) 2026年3月31日現在

■支部会費

- 高階 昇(滬友会)、岸本良次(28)、中島寛司(33)、栗山登之(34)、勅使河原平(34)、横田浩司(34)、石川光芳(38)、梅村 修(38)、時谷則子(40)、金原俊通(41)、青山輝男(42)、中島久男(42)、森澤光子(43)、鈴木 宏(43)、柴垣敏秋(43)、浅井俊之(43)、高間益雄(44)、伊藤登美夫(44)、新家康寿(44)、櫻井忠夫(46)、島岡憲二(49)、谷口良子(49)、荒井隆史(50)、山本美恵子(50)、一之瀬和彦(52)、清水孝典(53)、小林誠二(53)、加藤浩明(58)、鳥越 剛(58)、角崎理恵(H2)、岩坂英明(H2)、平田浩一(H3)、渡會健夫(H5)、相崎高弘(H14)、金森祥平(H26)

■寄付金

- 高階 昇(滬友会)、岸本良次(28)、中島寛司(33)、横田浩司(34)、勅使河原平(34)、石川光芳(38)、梅村 修(38)、金原俊通(41)、中島久男(42)、青山輝男(42)、鈴木 宏(43)、浅井俊之(43)、柴垣敏秋(43)、伊藤登美夫(44)、高間益雄(44)、新家康寿(44)、島岡憲二(49)、谷口良子(49)、山本美恵子(50)、一之瀬和彦(52)、清水孝典(53)、小林誠二(53)、鳥越 剛(58)、岩坂英明(H2)、角崎理恵(H2)、渡會健夫(H5)、金森祥平(H26)

(会計 鳥越 剛)

支部会費などの納入を

有難うございました。

支部活動は皆様からの支部会費納入と寄付金とによって成り立っています。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。また、同窓会全体の活動を支援するために本部の維持会費(3千円)の納入にもご協力をお願い申し上げます。

(支部長 伊藤登美夫)

### 愛知大学東京霞が関オフィス便り

令和7年12月～3月までの利用状況をご紹介します。期間内で延べ人数、学生95名、教職員47名、OB31名、その他28名の方にご来訪いただきました。主なご利用内容は以下の通りです。

#### 東京スタディーツアー開催

2/10～2/11、一泊二日で関東指向往や大手企業への就職を希望する2年生対象の「東京スタディーツアー」が開催されました。今年は23名の学生が参加し、「信金中央金庫」「Calbee」の企業訪問や都内の様々な業種の大手企業にて現役で活躍中の先輩を招いてパネルディスカッションなどを行いました。

#### ゼミ利用

3/17～3/19の3日間、恒例の春合宿で経営学部太田先生のゼミ生16名にご利用いただきました。

#### 教員の研究会利用

文学部・山本先生所属の研究会で4回、経営学部田端先生の研究会で連続5日間ご利用いただいた他、他校との共同研究などで、都内での会議に頻繁にご利用いただいています。

#### 卒業生の来訪

霞が関という官公庁や大手企業が集中する場所に立地することから、都内にお勤めの卒業生が見つけて立ち寄ってくださることが度々あります。

#### その他

霞が関スタッフによるWEBキャリア面談を述べ32名の方に実施しました。

また、スタッフの林さんがアナウンススキルを活かし、豊橋の卒・入学式などの司会を担当しています。東京に來られない学生の皆さんにも知っていただき、霞が関オフィスのご利用に繋がればと思っております。(霞が関オフィス・佐藤)

### 第65回日本寮歌祭のご報告

第65回日本寮歌祭は、2025年11月23日(日)東京日暮里のホテルに於いて、北は北海道大学から南の鹿児島大学まで、海外校の台北高校・東亜同文書院など39校が参加して、盛大に開催されました。271名の出席者は、学帽・鉢巻や学生服・法被・袴・高下駄など思い思いの服装で、母校の栄誉と伝統を背負って歌いました。

我が愛知大学は、中島寛司氏(S33年卒)が開会宣言を行い、淀野敏男氏(S45年院卒)と伊藤登美夫(S44年卒)は寮歌祭の実行委員として運営を支えました。また、加納寛副学長と松田イサオ衆議院議員が来賓としてご臨席くださるなど、総勢15名が参加して、愛知大学の名を強く印象付ける事が出来ました。

私たちは、23番目に登壇し、加納副学長の先導で東亜同文書院寮歌「長江の水」を。次いで、黒マント姿の佐藤武史氏(日8年卒)の先導で、愛知大学逍遙歌「月影砕くる」を。更に、52番に登壇し、伊藤が先導して京城帝国大学校歌「紺碧遙かに」を高吟しました。今回も海外ルーツ校の寮歌をしっかりと歌い継ぐことが出来ました。

中京地区で日本寮歌祭に参加できる旧制校は、愛知大学と名古屋大学と皇学館大学のわずかに3校しかありません。私たち寮歌振興会は、各地の寮歌祭への出席を通して、その誇りと伝統を守り続けます。海外校の寮歌継承を通して、東アジアのエリート校をルーツに持つ歴史も継承します。そして、その誇りや歴史等を同窓生、在校生と共有する取り組みを進める所存です。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(寮歌振興会 伊藤登美夫)

### 関東地区4支部 特別講演会・新年会を開催

2026年1月31日 日本橋プラザにおきまして、広瀬学長ら5名の来賓と関東4支部から30名の参加のもと特別講演会・新年会を開催いたしました。

特別講演は、経済学部の打田委千弘教授から「地域の持続性と事業承継をテーマに①地域の会社が静かに消え始めていく②事業承継は会社の問題ではなく地域の未来問題③M&Aはお金の話ではなく地域のバトンの話という内容の講演をいただきました。

新年会では、広瀬学長から愛大の志願者数が大きく伸びたこと、創立80周年事業に向けて準備をしており同窓会には協力をお願いしたいことなど、齊本支部長からは、来年は同窓会創立75周年、東京事務所開設30周年の年であり東京事務所でのイベントを企画したいとお話がありました。



#### 〈同窓会本部の動向について〉

2026年3月20日 第4回同窓会理事會・常任理事會が開催されました。

#### 【審議事項】

・次期同窓会会長に名古屋支部長 岸田充広氏を推薦する  
(推薦委員会選考結果(2月1日開票))

岸田氏 57票 八木氏 6票 齊本氏 1票  
杉本氏 1票 推薦無し 23票

\*八木会長は2月8日付けで辞表届を提出。よって、代議員会における次期会長が選任されるまで岸田氏が会長代行を務める

#### 【協議事項】

・2026年度事業計画については、①第4次基本計画の策定②大学80周年記念への積極的協力③同窓会創立75周年記念全国総会開催準備などが計画策定されました。

#### 〈大学の動向について〉

2026年3月20日 大学評議會在開催されました。

#### 【審議事項】

##### 1. 第6次基本構想について

大学の根幹となる「教育・研究・学修支援」と法人としての運営を担う「組織経営基盤」が2つの区分として分離され、それぞれ目標が定められた。

このなかで、関東4支部に関する項目として「東京事務所を企業・卒業生・社会人学生が交流する知の共創ハブとして活用する。」ことが明記されました。

##### 2. 事業計画について

第6次基本構想のスタート年度の事業計画となっている。注目は、①教職組織の戦略的再構築の実施②IR・DXを活用した教育システム確立③創立80周年記念フォーラムの実施④東京事務所の利用促進のためゼミ活動や同窓生への周知を実施することなどです。